

横超断四流



横超断 四流

総本山永観堂法主 玄禮



横超切符おうちゆうきふ

われを悩ます 執着しやくちやくの激流の渦巻く
この娑婆世界しやばせかいから 一足飛びに
お浄土へ運んでくれる 横超切符おうちゆうきふ

いつでも

どこからでも使える

横超切符を

阿弥陀様から頂戴し

そっとポケットにしのばせておこう

横超切符は無料

しかも無期限有効

ただ「南無阿弥陀仏」と

それだけでよい

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮親下のご染筆です。前々号の色紙は、明石市在住長谷川貞美様に進呈します。
ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

失せざる花



戒香 薰修

永観堂九世 玄禮



世阿弥はその著『風姿花伝』において
能役者には

感動を呼び起こす魅力の花が
なければならぬという

幼年 青年と 努め励むも

時分の花なるがゆえ

驕ることなく 中年に至るまでに

真の花を 究めねばならぬという

老いては 己を知りて無理はせず

枝木は枯れ 老木になろうとも

会得したものが 真の花なれば

散ることのない

失せざる花が残るという

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、三重県在住澤田登代子様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選一名に進呈。

報恩感謝

報恩 感謝

永観堂法主

玄禮



英語で「感謝する (thank)」の語源は

「考える (think)」

独語で「感謝する (danken)」の語源も

「考える (denken)」

漢字の「恩」も「思う」が語源という

不思議に頂戴した わが生命

「生かさずにはおれぬぞ」と

目には見える 目には見えない

我れを支える おおくの縁を 思い

考えたとき

おのずと湧き出る、有り難い、という思い

それが感謝のことば「ありがとう」

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県在住吉田真一郎様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

自性清浄心



自性 清浄心

永観堂法主 玄禮



総本山 永観堂 禅林寺

毎年「町たんけん」にやってくる小学生に訊かれます、

「お寺は何をするところですか」と。

いつも、こう答えます、

「心の掃除そうじ」をするところです、――

イジイジしたり、くよくよしたり、腹が立ったり、毎日毎日、心の中には汚れが積もってきます。それをお寺ではお経を読んだり、心を落ち着かせて、その汚れを掃除します。境内の落ち葉を箒で掃くのも、心の掃除はらうをしていくのです。

掃いてきれいにならない「心」なんてありません。皆さんが教室を毎日掃除するのも、心の掃除はらうをしているのです。

どうしても落ちない汚れは、お念佛となみを称えて佛さまにお任せします」と。

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、山陽小野田市在住原美昭様に進呈します。ご希望の方は八カまで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

共ぐ命みょう
鳥ちよう



共命之鳥

永観堂法主

玄禮



昔、一つの胴体に頭が二つある不思議な鳥がいました。共命鳥ぐみょうちようといひます。一方の頭が眠っているとき、起きている方の頭はおいしい木の実を食べました。起こそうかとも思つたのですが、「どうせ入る腹は同じ。眠っている頭も喜ぶだろう」と思ひました。そのことを起きてから知つた頭は、食べられなかつたことを恨みました。

そこで今度は逆に、先に食べた方の頭が眠っているとき、仕返しをしてやろうと思ひ、毒のある木の実を食べました。

結局この鳥は死んでしまいました。

自分のことばかり考えて、いい思ひをしようとすると、このようなことになります。世の中にはいろんな考えがあります。「他人が何を思っているか分からない」とあきらめず、知ろうとする一歩が必要なのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、加古川市在住坂田春子様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所氏名号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

ちよう
さい
よう
こう
兆載永劫

永兆載劫

永観堂九世玄禮



みくはさう
成佛されるまでには
あと五十六億七千万年という

ほさう
法蔵菩薩は 四十八願を建てられ

阿弥陀佛となられるまでに 五劫を要した
という

● 四十里立方の大岩に

天女が三年に一度舞い降り それを羽衣で
撫で擦り

その岩が無くなるまでの 長い時間を
一劫という

ならば われら凡夫が覺りを得るには
じつに三阿僧祇劫とぞいう

されど成佛は およそわれら凡夫の成し得
ぬところ

われら凡夫は ただ阿弥陀佛を憑むのみ

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、刈谷市在住早川勝美様に進呈します。
ご希望の方は八力主で住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

正しょう

覚かく

正覚



永観九十七歳



亡くなったご主人が育てていた蓮の世話を續けている方がある。蓮の花を見ていると、御主人のことを思い出し、励まされるという。

多くの經典に「蓮の花」が出てくる。蓮は泥池の中から清らかな花を咲かせる。その泥が深ければ深いほど、きれいな花を咲かせる。

泥は、煩惱の渦巻く娑婆世界を表わし、花は、菩提すなわち覺りを表わす。

大切な人との別れや、病にかかる辛さ、満たされぬ欲望や執着、さまざまな泥があり、苦しみ悩むからこそ、気づき目覚めることがある。

「蓮の花」は、「この煩惱を菩提を求める力とし、大きな花を咲かせよ」と教えてくれる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我巖昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、たつの市在住岩本豊子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

願^{がん}我^が身^{しん}浄^{じよう}如^{にょ}香^{こう}炉^ろ

徳香

永観九十一世實仁



ふだん私たちが上げる勤行の最初の一句は、焼香をするときの心構えを説く「香偈」です。「願我身浄如香炉——願わくは、私のこの身が、香炉のように清らかになりますように」という意味です。このことから分かるように、焼香は大切な作法です。

中国の詩人・黄庭堅は、香には徳があるといえます。心身が清らかになり、穢れを取り除き、静けさの中に安らぎをも与え、忙しくても心を和ませるなどの効能を説いています。

この「香偈」では、「我が身が香炉のごとく清らかになるように」と願うのですから、焼香には良き香りを供え、香炉も綺麗に手入れするよう、努めたいものです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住土岐ノリ子様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

佛 ぶつ
心 しん

佛心

総本山 福林寺 九十九世 實心



佛の心は、

利益と安楽を与える

「慈」の心と、

共に同情し これを救済せんとする

「悲」の心、

されど我ら 不備多き身なるがゆえに、

この「慈悲心」を持つことは

はなはだ難しい、

なれば 我が身に足りなきは

輩とともに 補い助け合い、

ともに佛の心を 大事に育んでいこう

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住藤岡陽子様に進呈します。
ご希望の方は八ガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

千里せんり
同風どうふう

千里同風



総本山禅林寺法主資玄



渡り鳥が群れをなし
飛んでいく様を見ると、
思わず 無事を祈らずにはおれない。

かれらには 国境という概念はなく、
はるか彼方を目指して飛んでいき、
時期がくれば また還ってくる。

生きとし生けるものは、
同じ地球上 同じ大気の中で
同じ風に吹かれて 生きる。
人間だけが いがみ合っていて
いいものだろうか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我嚴昭親下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住小林徳子様に進呈します。
ご希望の方はハガキで住所氏名希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

天^{てん}
下^げ
和^わ
順^{じゅん}

天下
和順

総本山 禅林寺 九世 實定



左の詩は、アフガニスタンで教師をして
いたことのある女性のものだ。

買いたいもの――

「ぬいぐるみ」なら

「チョコレート」なら

微笑^{ほえ}んでうなずけるのに

カプールの少女は「平和」といった。

『無量寿経』に「天下和順^{てんげわじゅん}」で始まる句が
ある。

「佛^{はつ}が歩み行かれる所は天下泰平^{てんかたいへい}となり、
民の暮^ならしは安らかとなり、武力を行使す
ることもない。

他人の良い所を尊^{とうと}び、互いに思いやりな
がら努^とめて、礼儀^{れぎ}ただしく振舞^まい、また譲^{やう}
り合う」と。

お釈迦さまは「殺すなかれ」と説き、平
和を願われた。

その出身国である釈迦国は、教えを守り、
一切の武器を持たなかったという。

この少女が「平和」と答えた心をもっと
考えなければならぬのではないか。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都市在住山口悌市朗様に進呈します。
ご希望の方は八ガキで住所・氏名・希望号数を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選「一名」に進呈。

和^わ
顔^{げん}
施^せ

和顔施

永観堂



「あくびは伝染する」ということをお聞きになったことはありませんか。

これは、相手の顔の表情を自分に写し取ること、相手の感情を読み取ろうとする人間特有のコミュニケーションの一つだといわれています。

ある研究によりますと、ことほど左様（さよう）に、自分が幸福感に満たされていると、その隣にいる家族・友人・知人にも、その幸せの約十五%が伝染し、その知人の知人にも、約十%が伝染し、そのまた知人の知人にも、約六%が伝染するのでそうです。

あなたが笑えば世界に伝染します。やさしい笑顔は尊い布施行なのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長久我儼昭猊下のご染筆です。前々号の色紙は、亀岡市在住麻田剛正様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名・希望号数を明記の上下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。